

科目名	作業療法特別セミナー	担当教員	三宅環 山田恭平 佐々木努 久保勝幸 佐藤拓也 泊り由希子 松田竜幸 ※印は実務経験のある教員を示す。
-----	------------	------	--

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
作業療法学専攻	専門科目	選択	4年次	後期	3単位	講義
ナンバリングコード	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
HR42CD	②、④					

科目概要	<p>作業療法士として臨床業務を遂行するにあたっては、生涯学習は欠かせないものであり、新しい知見や制度改定に対応していくことが求められる。そこで、本科目では、多岐に渡る作業療法領域の中からいくつかのトピックについて着目し、臨床実習の経験をもとに、基礎的な知識を整理する。、生涯学習の基盤となるような探求心、問題解決能力、思考力を養う。</p> <p>※講義順は変更になる場合があります。</p>
学習目標	専門基礎科目で学んだことを臨床的な知識として整理できるようになる

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験 教員担当 項目
1	作業療法概論 リハ概論	作業療法概論、作業活動、リハ概論	これまでに学習したことを整理し、応用する力を身につける	
2	脳血管障害 老年期障害	老年期障害、高次脳機能障害、外傷性脳損傷、脳出血・脳腫瘍病変	以下、同様	
3	中枢神経	脳・脊髄、脳神経、脳血管など神経系		
4	臨床神経医学	高次脳機能障害、認知症		
5	脳血管障害	ブルンストローム法、脳血管障害（急性期、回復期）、片麻痺		
6	臨床神経医学	脳・神経の病態生理、脳血管障害		
7	生理学・病理学	代謝、血液、免疫、内分泌など 代謝・内分泌疾患、感覚器など		
8	ADL	ADLの評価法、ADL介入、住宅改修、福祉用具、嚥下など		
9	評価法	評価法総論、ROM、MMT、感覚検査		
10	義肢装具、脊髄損傷	義肢装具、脊髄損傷		
11	関節リウマチ、整形疾患、整形外科	関節リウマチ、整形疾患、整形外科		
12	解剖学、運動学	神経筋支配、筋・靭帯、運動学		

13	神経変性・筋疾患	神経変性・筋疾患、変性疾患、自己免疫疾患		
14	内科学 1	内科学、膠原病、呼吸器疾患、循環器疾患、消化器疾患、その他の疾患		
15	内科学 2	内科学、膠原病、呼吸器疾患、循環器疾患、消化器疾患、その他の疾患		
16	解剖学・生理学・病理学	循環、呼吸、消化と吸収、排泄など 循環系、内臓諸器官		
17	神経変性・筋疾患	筋ジストロフィー、筋疾患		
18	小児科学	人間発達学		
19	骨・関節 発生と組織	骨・関節、発生と組織		
20	就労支援	就労支援		
21	精神医学 臨床心理学	精神医学、臨床心理学		
22	精神障害	精神医学		
23	精神障害	精神医学		
評価方法		筆記試験（中間試験と修了試験で合計 100 点）		
課題に対するフィードバック		講義中・講義終了後に質問を受け、回答する。		
教科図書		特に指定しない。		
参考図書		医療情報科学研究所『クエスチョン・バンク 理学療法士・作業療法士 国家試験問題解説』メディックメディア、2024 年 医歯薬出版社・編『PT/OT 国家試験必修ポイント』医歯薬出版社、2024 年		
学習の準備		1. 予習：講義範囲を参考図書で確認し、事前学習をして臨むこと（60 分） 2. 復習：講義内容について、類似した国家試験の問題を調べて、解答および解説できるようにすること（120 分）		
オフィスアワー		講義当日の 16 時 30 分～17 時 30 分、講義翌週当日の 16 時 30 分～17 時 30 分 ほか各担当教員から連絡する。		
担当教員欄に※印を附した教員の 実務経験				